

キャリア教育新聞

No.15

2026年4月
発行

共創共学
プラットフォーム
(塩尻市教育委員会委託事業)

地域の大人とつくる学び

～昨年度のキャリア教育授業・生徒たちの声から～

昨年度、塩尻市内の中学校において共創共学プラットフォームで支援させていただいたキャリア教育プログラムは、地域・企業の個人及び団体との関わりを通じて、生徒たちにとどのような心や考え方の変化を生じさせたのでしょうか。アンケートに寄せられたリアルな声をご紹介します。

■職場体験・企業見学

★働くのイメージが大変から「やりがい」へ
実際に現場での体験を通して、生徒たちの働くことへのイメージは「大変そう」から「やりがい」へと大きく変化しました。アンケートには、「仕事は自分のためだけでなく、誰かのためにするものだと感じた」「掃除や整理などの地味に見える仕事がお店を支える大切な役割だと分かった」「働くことは大変だと思っていたけれど、達成感や楽しさがあることを知った」といった声が寄せられました。

■いきはたトーク【大人1対生徒1の対話】

★自分を肯定してくれる「ナナメの関係」

親や先生ではない地域の先輩との対話を通じて、生徒の自己肯定感の向上や、将来への不安の軽減が見られました。アンケートには、「自分の考えを否定せずに肯定してくれたので、とても安心した」「親や先生には言えない悩みも話せて、

心がスッキリし、前向きになれた」「大人でも自分と同じように悩み、乗り越えてきたと知って、将来への不安が減った」といった声が寄せられました。

■哲学対話【大人1対生徒グループの対話】

★正解のない問いで「思考」を広げる

「正解」を求められない自由な対話の場は、多様な価値観を認め、自分の視野を広げる貴重な機会となりました。アンケートには、「正解がないからこそ、どんな意見も尊重し合えて自由に話せた」「自分にはない視点や、大人の経験に基づいた意見を聞くことで世界が広がる感覚があった」「自分と違う考えに触れて考えが深まるのが楽しかった」といった声が寄せられました。

■いきはたインタビュー【〃〃】

★いきいき働く大人から「未来」を描く

地域の大人へのインタビューを通じて、生徒たちは多様な価値観に触れ、「自ら人を選択する」ことの重要性を学びました。アンケートには、「働く＝お金のためだけではなく、自己実現や幸せの一部だと感じられた」「大人になっても、自分の興味や好きなことを大切にしたいんだと分かった」といった声が寄せられました。

キャリア教育、お手伝いします

- 入力内容
・学校名・担当者・学年
・相談内容・授業の想定時期
・どんなことを学んでほしいか
・連絡先・その他

- 相談は約3か月前までに頂けると余裕をもって支援や、協力者集めが可能となります。

※ささいなご相談にも、可能な限り対応しますのでお気軽にご相談ください。



授業全体の構成について・地域機関や企業の紹介・プログラムの提供・現行の授業のブラッシュアップなど、お力になれば幸いです。こちらのフォームからご相談ください！

職場体験 企業見学	受入企業の紹介のほか、従来の「仕事を知る」から「企業を知る・仕事を知る・人を知る」へねらいをシフト。
はたらく講座	これからの「はたらくとは」をテーマに講座を実施。
いきはた インタビュー 【対話型】	地域でいきいき働く社会人に対して、インタビューを実施。仕事内容ややりがい、価値観を聞く。
いきはたトーク 【対話型】	人生の先輩（高校生～社会人）と生徒が1対1の対話を行う。自己理解の促進や地域への愛着を醸成する。
哲学対話 【対話型】	生徒が自分で選んだ「生きる・働く」に関わるテーマをもとに、社会人も交えたグループ対話を行う。

プログラムの例

◆お問い合わせ

共創共学プラットフォーム事務局 (NPO法人MEGURU)
塩尻市教育委員会事務局学校教育課 (0263-52-0280 内線・3112)